

## もくじ

- ・ やせためんどり

# やせためんどり

げんさく： せかいのむかしばなし

イラスト： ちひろ

へんしゅう： イエローボードプロジェクト



むかし、イタリアの とある いなかのまちに、  
ひとりの おばあさんが すんでいました。

おばあさんは、めんどりを いちわ  
かっていました。

おばあさんの いえは まずしかったので、  
めんどりは あまり まんぞくに えさを  
あたえてもらえず、とても やせていました。  
おなかをすかせた めんどりは、  
しだいに たまごをうむことも  
できなくなってきました。

そこで めんどりは、やまへ行って  
えさを さがすことにしました

ある はるのひ。

めんどりは やまへむかって、  
とことこと あるいていきました。





めんどりが やまのふもとまで きたとき、  
とつぜん くさむらから、  
いっぴきの きつねが あらわれました。

「ほほう、こいつは うまそうな めんどりだ。  
ちょっと やせているが、まあ がまんしよう」  
「ああ、きつねさん。わたしのからだを  
みてください。こんなに やせていては、  
あなたの おなかの たしには なりませんよ。  
これから やまに はいって、  
えさを たくさんたべて、  
まるまるふとって かえってきますから、  
どうか こんかいは みのがしてください」  
「なるほど・・・ちゃんと かえってくるんだろうな」  
「もちろんです。やくそくします」

きつねは そのことばを しんじて、  
めんどりを みのがしてやることにしました。

